

【生涯学習スポーツ課】知多市生涯学習まちづくり推進計画における令和6年度事業実績及び令和7年度事業計画について

基本施策	推進項目	取組項目	今後の方向性	令和6年度 事業内容	令和6年度 事業実績	令和7年度 事業内容
1 学びにつながるきっかけづくり	(1) 学習ネットワークの活用	No.1 公共施設等で活動するサークル団体等のネットワークの活用	・市内の公共施設等で活動する各種サークル団体と学びたい人を結びつけ、市民団体の継続的な生涯学習活動を促すとともに、公共施設での学習相談を拡充します。 ・構築したネットワークを活用し、団体同士の交流を図ることで、さらなる活動の輪を広げていきます。	・各団体の掲載内容を最新のものにするため、掲載団体に照会し、掲載内容を確認します。 ・各施設に配架している「まなちた」の在り方について検討します。	・各団体の掲載内容を最新のものにするため、掲載団体に照会し、掲載内容を確認しました。 ・個人情報保護の観点から各施設に配架していた「事務用（職員用）」を回収・廃止し、団体との取り次ぎ等の事務をわかりやすくするため生涯学習スポーツ課に一元化しました。 ・令和7年3月末に、令和7年度版の知多市生涯学習団体情報誌「まなちた」を各施設に配架しました。	・各団体の掲載内容を最新のものにするため、掲載団体に掲載内容を確認し、情報誌を更新します。 ・引き続き「まなちた」掲載団体に加入を希望する市民と掲載団体との橋渡し役として、連絡・調整を行います。
	(2) 子どもの読書活動の推進	No.2 子どもの読書活動の推進に向けた学校、家庭、地域及び図書館による連携体制の充実	・子どもたちが自主的に読書をする習慣を身に付け、本との出会いや感動を通して知識を深め、豊かな感性を磨くことができるようにします。 ・幼少期から本に親しむ環境と機会を設け、「読書が好き」という子どもを市全体で育てていきます。 ・読書が嫌いな子ども、1か月にほとんど本を読まない子どもの割合（不読率）を減らします。 ・「知多市子ども読書活動推進計画」（令和3年～令和12年）を策定し、具体的な施策を行っていきます。	・中央図書館において、YA世代に人気の作家講演会、親子で参加できる講座・イベントの開催、定期的なお話会やブック展の開催等により本と出会い読む楽しさ感じてもらう場を提供します。 ・図書館を使った調べる学習地域コンクールを主催し、子どもたちが主体的に学ぶ楽しさを経験する機会を提供します。 ・学校との連携事業では、団体貸出資料のお届け、英文多読の定期配本、出張ブックトークや学校図書室の支援を充実させ、本の利用促進を図ります。	・4月27日開催の汐見夏術氏講演会には中高生を中心に50名程の参加がありました。他にも親子で参加できる算数講座、英文多読講座や児童を対象としたプログラミング講座を開催し、毎月定期的に開催しているおはなし会やアニメ上映会、毎月テーマを変えて展示するブック展と合わせて本と出会う機会を創出しました。また、YAサポータークラブが企画した文化祭を12月21-22日の2日間開催し、延べ170名ほどの参加がありました。 ・図書館を使った調べる学習地域コンクールでは、小学校低学年向けの支援講座に加え中学年向け講座を新たに開催しました。例年通り作品募集期間中には支援スタッフも配置し、自ら学ぶ環境を提供することに努めました。 ・小中学校への団体貸出では、今年度から希望に応じて配送と引き取りを実施し、利用しやすい環境を整えました。学校図書室の整備支援、図書委員への読み聞かせ指導、ブックトーク等を実施し、子どもたちに本を読む楽しさを広める活動を進めました。	・開館45周年を記念して、夏休み期間に子ども達が体験できる様々なイベントを開催し、図書館になじみがない子供たちにも来館してもらえる機会を提供します。また、通年で実施しているお話し会や親子講座、ブック展などと合わせて、本と出会い読む楽しさ感じてもらう場を提供します。 ・第10回を迎える図書館を使った調べる学習地域コンクールでは、初めて参加する児童への支援講座を充実させるとともに、本を使って自ら調べ、まとめられるように支援を行います。 ・学校からの要請に応じ、貸出資料の配送・引き取り、英文多読資料の定期配本を行い、身近に本がある環境を提供します。また、出張ブックトークや学校図書室の支援を充実させ、図書室の利用促進を図ります。
	(3) 多様な学習情報の提供	No.3 生涯学習ガイドブック「コノハナ」等による多様な生涯学習情報の発信	・引き続き、生涯学習ガイドブック「コノハナ」による豊富な学習情報を提供するとともに、市民ニーズの高い生涯学習情報の把握に努めることで、市民の積極的な生涯学習活動を促します。また、協定を結んだ企業等と協議し、出前講座の内容の充実を図ります。 ・図書館への「生涯学習ブース」の設置や「学びネットあいち」との連携など効果的な情報提供を行います。また、生涯学習ガイドブック「コノハナ」を音訳・点訳して提供するなど、新たな情報発信手段を検討することで、いつでも、どこでも、だれでも生涯学習情報を受け取ることができるようにしていきます。	・引き続き生涯学習ガイドブック「コノハナ」を作成し、市・教育委員会等主催講座、出前講座、特集ページ等を有効に活用し、生涯学習活動を積極的に促します。 ・生涯学習ガイドブック「コノハナ」の時代に合った在り方について検討します。 ・引き続き音訳・点訳した生涯学習ガイドブック「コノハナ」を提供します。	・生涯学習ガイドブック「コノハナ」を作成し、特集ページでまちかどコンサート、市民美術展、まちかどコンサート、ふれあいプラザ祭、歴史民俗博物館企画展の生涯学習情報を掲載しました。 ・コノハナのあり方について職員アンケートを実施し、次年度より記事を精査した冊子を発行予定です。 ・音訳・点訳した生涯学習ガイドブック「コノハナ」を提供しました。	・ちた塾の講座に特化した生涯学習ガイドブック「コノハナ」にリニューアル予定です。引き続き、出前講座及び特集ページ等を掲載し、生涯学習活動を積極的に促します。 ・生涯学習ガイドブック「コノハナ」の他、新聞折り込み等による講座のチラシ配布を行います。 ・引き続き音訳・点訳した生涯学習ガイドブック「コノハナ」を提供します。
2 多様なニーズに対応した学習機会の提供	No.4 市民大学ちた塾による新規講座の開拓	・世代を問わず、多くの市民に認識される市民大学ちた塾になっています。 ・仕事や子育てなどにより学習時間や場所が限られてしまう働く世代でも、学びやすい環境が整っています。	・受講ニーズの幅を広げるため、引き続き土日や夜間講座の新規講座について検討します。 ・今までに無いジャンルの講座開発について検討します。 ・引き続き、子どもの金管アンサンブル「ちたUMEプラス」を支援し、小学校での部活動の受け皿となる講座の開拓を進めていきます。	・新規講座は18件ありました。うち土日の新規講座は5件、夜間の新規講座は5件となりました。 ・令和7年度の秋冬スペシャル講座では、観光協会とのコラボで親子を対象とした講座の検討をしています。 ・令和5年度から開始した「ちたUMEプラス」は、受講者が前期45名、後期43名となりました。対象年齢の拡大も検討中です。	・教員・学生の高齢化に備え、引き続き土日や夜間講座の新規講座について検討します。 ・18歳以下を対象とした新規講座を開催予定です。 ・「ちたUMEプラス」を支援し、小学校での部活動の受け皿から中学校の部活動の地域移行に備えた検討を行います。	
	No.5 オンライン講座の配信	・いつでも、どこでも学習することができるよう出前講座に留まらず、市主催事業や共催事業など多様な講座を配信することで、視聴者が「見たい！学びたい！」と思う動画を増やしていきます。また、SNS等を活用するなど、情報発信手段を工夫することで、より多くの市民に動画を視聴してもらい、タイムリーで効果的な情報提供をします。	・各課で動画の作成が進められるよう「動画の作成方法」をより周知し、市民のニーズに合った動画が提供できるよう推進していきます。	・12月末時点で1本（累計32本）の動画をYouTubeに投稿しました。また、各課の職員で動画の作成が進められるよう「動画の作成方法」を職員に周知しました。	・引き続き各課で動画の作成が進められるよう「動画の作成方法」を周知し、より多くの市民に効果的な情報が提供できるよう動画作成を目指します。	
	(1) ライフステージに応じた学習の提供	No.6 学び直しの機会の提供（リカレント教育講座、公民館講座の開催）	・「学び直したい！」という市民の「欲求」に応える魅力ある「学びの場」づくりを目指します。 ・ニーズに合った企画や情報を提供し、指導者を大学や高校、企業、官公庁等からだけでなく、広く地域の中から発掘し、専門性の高いものから小さな子どもと一緒に学べるものまで、幅広く「リカレント教育」を応援します。	・愛知県の歴史や文化について楽しく学べる歴史ツアーを開催します。 ・科学やものづくりへの興味関心を高めるサイエンスツアーを開催します。 ・市民の様々な分野に対する向学心に因るため星城大学、日本福祉大学との提携講座（リカレント教育講座）を開催します。 ・地元公民館元気プロジェクトとして、相続の基本とエンディングノートの記録の仕方をテーマとしたMY定期講座を開催します。 ・公民館での生涯学習活動のきっかけづくりとして、公民館活動の体験講座を開催します。	・「安祥文化のさと」を巡るツアーを5月12日に実施しました。 ・「でんきの科学館」で電気について学び体験するサイエンスツアーを7月7日に実施しました。 ・リカレント講座として、星城大学提携講座を9月29日に、日本福祉大学提携講座を1月26日に実施しました。 ・MY定期講座として、わたしと家族の「そうぞく」講座を6月2日と6月30日に実施しました。 ・公民館体験講座「健康体操 体験講座」を12月8日に実施しました。 ・法務局による「自筆証書遺言書保管制度」講座を2月20日に実施しました。	・愛知県の歴史や文化について楽しく学べる歴史・史跡見学を開催します。 ・市民の様々な分野に対する向学心に因るため星城大学、日本福祉大学との提携講座（リカレント教育講座）を開催します。 ・地元の公民館元気プロジェクトとして、女性のための健康的なダイエット習慣と女性特有の疾病をテーマとしたMY定期講座を開催します。 ・科学やものづくりへの興味関心を高めるサイエンスツアーを開催します。 ・公民館での生涯学習活動のきっかけづくりとして、公民館活動の体験講座を開催します。
No.9 ライフステージに応じたスポーツ活動の推進	・マラソン大会などの各種スポーツ事業を開催し、競技力の向上やレクリエーションスポーツの普及が図られ、子どもから大人、高齢者や障がいのある人など、だれでもスポーツを楽しむことができる機会を提供し、市民一人ひとりのライフステージに応じたスポーツ活動を推進していきます。	・働く世代や子どもに加えて家族で参加でき、だれもが気軽に楽しめるイベントとして、ちた梅子マラソン大会を継続して開催します。 ・スポーツ協会やスポーツ推進委員会、レクリエーションスポーツ運営委員会などを中心に各種スポーツ事業を開催し、競技力の向上やレクリエーションスポーツの普及を図るとともに、子どもから大人までそれぞれのライフステージに合ったスポーツ活動の機会を提供します。	・働く世代や子どもに加えて家族で参加でき、だれもが気軽に楽しめるイベントとして、ちた梅子マラソンを11月17日に開催しました。 ・スポーツ協会やスポーツ推進委員会、レクリエーションスポーツ運営委員会などを中心に各種スポーツ事業を開催し、競技力の向上やレクリエーションスポーツの普及を図るとともに、子どもから大人までそれぞれのライフステージに合ったスポーツ活動の機会を提供しました。 →10月26日・27日 レクスポひろば、10月27日 あそびチャンピオン大会 等	・働く世代や子どもに加えて家族で参加でき、だれもが気軽に楽しめるイベントとして、ちた梅子マラソン大会を継続して開催します。 ・スポーツ協会やスポーツ推進委員会、レクリエーションスポーツ運営委員会などを中心に各種スポーツ事業を開催し、競技力の向上やレクリエーションスポーツの普及を図るとともに、子どもから大人までそれぞれのライフステージに合ったスポーツ活動の機会を提供します。		

【生涯学習スポーツ課】知多市生涯学習まちづくり推進計画における令和6年度事業実績及び令和7年度事業計画について

基本 施策	推進項目	取組項目	今後の方向性	令和6年度 事業内容	令和6年度 事業実績	令和7年度 事業内容
2 多 様 な ニ ーズ に 対 応 し た 学 習 機 会 の 提 供	(2) 伝統、文化、 芸術の振興	No10 ジュニア サークル事業の 充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>既存のジュニアサークル団体へヒアリングを行い、支援方法の見直しを行うことで、より多くの子もたちに文化・芸術活動を学ぶ場を提供できるよう取り組んでいきます。</li> <li>経験豊かな地域の人材を発掘することで、新たな分野のジュニアサークル団体を増やし、子どもたちが集まる公共施設などでの事業周知をすることで会員数を増やしていきます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和5年度に引き続き、各団体の活動状況をヒアリングし、実情に合わせた支援を行います。</li> <li>会員不足が課題であるため、チラシやSNS等で募集し、会員数の増加に努めます。</li> <li>行政番組「ほっとラインちた」による、会員募集を行います。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ジュニアサークルを支援するため、伝統文化親子教室事業として「ジュニアかるたクラブ」に加え、令和5年度に新設した「ジュニア筆クラブ「ちたっこ」」を文化庁へ申請しました。</li> <li>ジュニアサークルの会員募集のため、広報ちたへの掲載や小中学校、幼稚園保育園へのチラシ配布を行いました。また、12月にジュニアサークルの視察及び次年度の会場利用の調整をしました。</li> <li>会員募集につなげる為、行政番組「ほっとラインちた」の収録を行いました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>年1回、各団体を訪問し活動状況について調査します。また、実情に合わせた支援を行います。</li> <li>会員減少の課題解決のため、チラシやSNS等で募集し、会員数の増加に努めます。</li> <li>部活動の地域移行に合わせ、中学生の受け入れ先として周知を行います。</li> </ul>
		No11 市民美術 展事業の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民参加型の取組を行い、美術展に興味関心を持って来場する市民を増やします。</li> <li>出品規定の見直し、出品者へ来場者の感想をフィードバックするなど、より門戸の開かれた事業展開を行います。</li> <li>宣伝媒体を工夫することで、「知多市民美術展にぜひ出品・来場したい」という市民を増やし、本市最大の美術の祭典にしていきます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>11月22～24日で3日間開催します。引き続き、市民向けのワークショップなど参加型の取組を行い、市民が美術に親しみきっかけを作ります。</li> <li>美術展出品者等から協賛金を募り、財源を増やすことで、より魅力的な美術展とします。</li> <li>市民美術展が50周年を迎えるにあたり、現行の企画を新たな特別企画に変更し、様々な年代の来場者が芸術に興味や関心を持てる取組を実施します。</li> <li>市各種SNSや新聞等の広告媒体でPRを行い、市民美術展の認知、来場者数の増加に努めます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>11月22日～24日の3日間開催しました。親子を対象としたワークショップ等、市民参加型の取組を行ったことで、市民が美術に親しみきっかけを作りました。</li> <li>美術展出品者や市内企業から協賛金を募り、受賞者への賞金やワークショップの内容等が充実しました。</li> <li>市民美術展が50周年を迎えるにあたり、50周年特別賞の新設や記念品の配布、体験型企画（トリックアート・つまようじアート）を実施しました。</li> <li>市各種SNSや新聞等の広告媒体で積極的にPRを行ったことにより、来場者数が増加しました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>11月22日～24日で3日間開催します。芸術に興味・関心がもてるよう来場者体験型の企画を行い、親しみやすい美術展にします。</li> <li>市制施行55周年を記念して、市民の投票により決定する「市制施行55周年記念特別賞」を実施します。</li> <li>市内企業や美術展出品者等から協賛金を募り、財源を増やすことで、より魅力的な美術展とします。</li> <li>市各種SNSやポスター、新聞等の広告媒体でPRを行い、市民美術展の認知度及び来場者数の増加に努めます。</li> </ul>
		No12 勤労文化 会館事業の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>より多くの市民に対して、話題性のある文化芸術鑑賞事業やアウトリーチ活動、市民参加型事業などを実施することで、文化芸術は身近なものであると感じる市民が増えるよう取り組んでいきます。</li> <li>ボランティア養成講座等を開催することで、地域で文化芸術活動をしている団体の支援をすることができる人材育成を行い、多くの市民が文化芸術に触れる場を提供していきます。</li> <li>感染防止対策を講じた新しい生活様式を取り入れた事業を開催することで文化芸術に触れる機会が失われることが無いよう努めます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>上質な文化に触れる機会を提供するため、実力のある出演者を招き、魅力ある演奏会や演劇公演などの鑑賞事業を行います。また、市民の独自の文化・芸術活動を促進するため、市民参加の講座なども行います。</li> <li>引き続き、市内小学校での活動がなくなった金管バンドクラブ活動については、子どもたちが金管バンドの活動ができるよう、「ちたUMEプラス事業」を実施し、発表の機会を増やします。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>鑑賞事業については、引き続き集客に苦慮しましたが、来場者アンケートからも大変好評な意見が多く、逆に集客が少ないことに驚かされていることも多いため、広報とニーズの把握についてが課題となりました。今年度から自主事業について電子チケット販売「teket(テケト)」で、広報とキャッシュレス（電子決済利用）の側面から利用を開始、利用者も増えてきました。</li> <li>ちたUMEプラス事業は、2年目となり、講師も変わったことから、発表の場を増やし、子どもたちに達成感を感じてもらえるように行いました。</li> <li>(一社)地域創造によるリージョナルシアター事業に採択され、演劇を通じたワークショップによる地域・施設活性化を行いました。参加者募集に苦慮しましたが、知多翔洋高校や横須賀高校など、今まであまりつながっていなかった演劇部とのパイプができました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市制施行55周年、勤労文化会館開館40周年にあわせ、市民ニーズの高い鑑賞事業や、市民の参加できる市民オペレッタなど、周年にふさわしい事業を行います。</li> <li>引き続き、市内小学校での活動がなくなった金管バンドクラブ活動については、子どもたちが金管バンドの活動ができるよう、「ちたUMEプラス事業」を実施し、発表の機会を増やします。また中学校の部活動地域移行に関する講座としての受け入れ態勢についても検討します。</li> </ul>
No13 歴史民俗 博物館における 各種展覧会の開催	<ul style="list-style-type: none"> <li>展覧会の内容の充実を図るため、収蔵資料だけではなく、他の博物館等の収蔵資料も併せて展示するなどの工夫をします。また、郷土の歴史や伝統・文化に関する調査研究の成果を展覧会や講座などを通してフィードバックし、市民の学びや郷土理解につなげ、郷土への親しみを深めてもらうことを目指します。</li> <li>福祉施設や教育機関等に対し、展覧会などの案内や出前講座の提案をするなど、より開かれた博物館を目指します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>空調設備修繕を実施するため、今年度は5回、展覧会を開催します。企画展「山本梅莊一門が描いた陶磁器」と企画展「絵葉書展」は昨年度、市民の方から寄贈された資料を中心に展示します。郷土への親しみをより一層深めてもらえるように、知多地域に関連のある資料を展示します。</li> <li>市内の学校には博物館事業のチラシの配信を依頼し、PRに努めます。また、市内の幼稚園、保育園、小中学校に出前講座の提案を引き続き行っていきます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>5回の展覧会が終了しました。また、予定していた一般・子どもを対象とした講座は1講座を除き全て終了しました。</li> <li>市内の学校にはチラシデータの配信を依頼しました。出前講座は高校で1回実施しました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>特別企画展を含む7回の展覧会を開催します。特別企画展「収蔵記念 森岡完展」は令和5年度に寄贈された作品を中心に作家所蔵のオブジェなどを企画展「知多市55年の歩み」は市制55周年に合わせた資料を展示します。郷土への愛着をより一層深めてもらえるように、知多地域に関連のある資料を展示します。</li> <li>市内の学校には博物館事業のチラシの配信、配布を依頼し、PRに努めます。また、市内の幼稚園、保育園、小中学校に出前講座の提案を引き続き行っていきます。</li> </ul>		
3 学 習 環 境 の 充 実	(1) 生涯学習関 連施設の充実	No15 市民が利 用しやすい新図 書館の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>新図書館は、「新図書館基本計画」に沿って、基本理念である「知をもとめ 多世代つどう いこいの場」及び3つの基本方針である「ともに学び合い、知を育む図書館」「多世代にやさしい図書館」「くつろぎと憩いの図書館」の実現を目指します。</li> <li>子どもから若者、子育て世代、高齢者まで様々な年代が、気軽に知識や情報を得られるとともに、学生、会社帰りの社会人などの自主学習やビジネス利用、多世代の居場所としてゆったりとくつろげる知と憩いの拠点施設を目指します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>朝倉駅周辺整備事業の進捗に併せ、関係各課と連携をとり、引き続き図書館の整備手法やZEB化などについての検討を行います。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>朝倉駅周辺整備事業の関係課と、今後のスケジュールや北街区での図書機能の導入方法について、情報共有を行いました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>朝倉駅周辺整備事業の進捗に併せ、市民と来訪者の交流を生み出し、朝倉駅周辺のエリア価値を高めるような「図書機能を持つ交流の場」として整備できるよう、関係各課と連携をとりながら事業の検討を行います。</li> </ul>
		No16 スポー ツ施設の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>スポーツを通じた健康づくりのまちとして知られるようになり、サッカーの大会など、各種スポーツイベントを通じて交流を求めて、全国からスポーツ好きが集まり、賑わいが生まれ魅力ある場所となるよう支援していきます。</li> <li>新たにスポーツを始める市民が増え、子どもから高齢者まで多くの市民がスポーツを楽しめるよう、健康増進施設や多目的グラウンドなどを整備、活用していきます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>愛知県サッカー協会が整備したフットボールセンター知多でサッカーの大会や地域のイベントが開催され、賑わいが生まれ魅力ある場所となるよう支援するとともに、包括協定を締結した名古屋オーシャンズと連携・協力し、知多市民体育館でのF（フットサル）リーグプレシーズンマッチの開催に向け調整を進めます。</li> <li>野球、サッカー、ソフトボール、グラウンド・ゴルフなどの利用ができる南5区多目的グラウンドで各種スポーツ事業を実施するとともに、市民団体の利用の促進及び施設環境の充実を図ります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>愛知県サッカー協会が整備したフットボールセンター知多でサッカーの大会や地域のイベントが開催され、賑わいが生まれ魅力ある場所となるよう支援するとともに、包括協定を締結した名古屋オーシャンズと連携・協力し、知多市民体育館でのF（フットサル）リーグプレシーズンマッチの開催に向け調整を進めます。</li> <li>また、同グラウンドで各種スポーツ事業を実施するとともに、市民団体の利用促進を図りました。</li> <li>→5月26日市ベタンク大会、11月9日市グラウンド・ゴルフ大会、11月7日 市モルック大会 等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>愛知県サッカー協会が整備したフットボールセンター知多でサッカーの大会や地域のイベントが開催され、賑わいが生まれ魅力ある場所となるよう支援するとともに、包括協定を締結した名古屋オーシャンズと連携・協力し、知多市民体育館でのF（フットサル）リーグプレシーズンマッチの開催に向け調整を進めます。</li> <li>野球、サッカー、ソフトボール、グラウンド・ゴルフなどの利用ができる南5区多目的グラウンドで各種スポーツ事業を実施するとともに、市民団体の利用の促進及び施設環境の充実を図ります。</li> </ul>

【生涯学習スポーツ課】知多市生涯学習まちづくり推進計画における令和6年度事業実績及び令和7年度事業計画について

基本 施策	推進項目	取組項目	今後の方向性	令和6年度 事業内容	令和6年度 事業実績	令和7年度 事業内容
3 学 習 環 境 の 充 実	(1) 生涯学習開 連施設の充実	No17 中央図書館サービスの充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者ニーズを把握し、話題性のある図書資料の収集を行うほか、市民が興味を持てる題材を提供するなどし、学びを習慣づける支援を行うことで、市民は自ら学びを切り開く力が身につけています。</li> <li>・市民が積極的に生涯学習活動に取り組めるよう、図書館協力団体をはじめとした団体や小・中・高等学校と連携・交流の機会を提供するとともに、市民参加型の事業を展開することで、知の拠点として地域をつなぐ図書館を目指します。</li> <li>・電子書籍等、新しい書籍の提供方法を検討していきます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月テーマを設定しての「ブック展」や好奇心を喚起する各種講座・ワークショップの開催など様々な事業を展開し、本に触れ読む楽しさを感じてもらう場を提供します。</li> <li>・インターネットを活用し、ホームページやSNSでの情報発信、書籍検索や予約等の利便性の向上を図り、図書館の利用を促進します。</li> <li>・図書館協力団体と協働した事業の拡充やYAサポータークラブの活動推進を行うとともに、施設見学やボランティア活動の受け入れ、団体貸出など小・中・高等学校との連携を積極的に進めます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・知多半島の産業史についての郷土講座や、金融、生活、言語に関する教養講座などを開催し、知識を拡げ、自ら学び深めるための機会を提供しました。また、毎年恒例のワークショップ、リサイクルフェアなどのイベントにより来館機会を創出し、ブック展や企画展示を通じて本に触れ合う場を提供しました。</li> <li>・X、Instagramをほぼ毎日更新し、ホームページと合わせて、新鮮な情報提供を行いました。相互貸借資料の貸し出しをシステム管理に移行し、端末画面表示の改善や貸出時のシステムエラー対応など利便性の向上にも努めました。</li> <li>・協力団体へは活動の場所を提供し、定期的なお話し会やアニメ上映会の実施、講座の開催や制作物の発行などを支援、推進しました。また、YAサポータークラブ企画運営イベントの推進、中学生ボランティアの受け入れなどを行い、社会活動の拠点として誰でも参加できる場を提供しました。小中学校への団体貸出では、今年度から希望に応じて配送と引き取りを実施し、利用しやすい環境を整えました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・8月に開館45周年を迎えるにあたり記念イベントを開催するとともに、年間を通して話題性のある各種講座・ワークショップなどを開催し、新しい知識に触れ、更に学びたいと思える機会を提供します。</li> <li>・英語や他言語によるお話し会を定期的に開催し、語学学習だけではなく多文化に接する機会を提供します。</li> <li>・図書館協力団体の活動継続に向けた支援を行い、また中学生ボランティアやYAサポータークラブの活動を推進し、施設見学の受け入れや学校への資料配送などと合わせて地域との連携を積極的に進めます。</li> </ul>
		No18 勤労文化会館の有効活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民のニーズを把握するとともに、施設の有効活用や全館利用できる公衆無線LANの整備、柔軟な利用が図られる時間区分変更を検討し、市民の文化芸術活動がより活発に行われ、学習の幅を広げることができる文化会館を目指します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民ニーズを把握するために、今年度も利用者アンケートを行います。また、全館利用できる公衆無線LANの整備を進めるほか、いつでも・誰でも文化芸術に触れることができるよう、まちかどギャラリー事業の推進、まちかどピアノの利用の促進、一部キャッシュレス決済導入を行います。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和5年度はやまもホール・つつじホールの公衆無線LAN整備に続き、6年度は各案内で無線LANが利用できる整備を行います。また、まちかどピアノの使用頻度が着実に増えており、気軽に市民が文化芸術を楽しめる機能として定着してきました。今年度から自主事業について電子チケット販売「teket(テケト)」で、広報とキャッシュレス(電子決済利用)の側面から利用を開始、利用者も増えてきました。</li> <li>また、今年度には、1階つつじホールとやまもホールの楽屋付近での無線LAN(Wi-fi)が使用できるように整備しました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市制施行55周年、勤労文化会館開館40周年にあわせ、市民ニーズの高い鑑賞事業や、市民の参加できる市民オペレッタなど、周年にふさわしい事業を行います。</li> <li>・第九演奏会では市民参加の合唱団を組織して毎年行っており、令和7年度は、公募で参加できる市民オペラ「こうもり」を開催し、市内外からの参加を呼びかけます。</li> <li>・無線LANの使用可能場所を徐々に広げていきます。</li> </ul>
		No19 ふれあいプラザの有効活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯学習の拠点として、学びのニーズを反映させるとともに、新たな事業である「少年少女発明クラブ」の実施や「ふれあい」事業の拡大などにより、新たな学びの機会を提供し、若い世代などへの公民館利用拡大を目指します。</li> <li>・施設の仕様や備品、利用区分の見直しを検討し、だれもが使い勝手がよく、居心地のいい施設づくりを目指します。</li> <li>・複合施設「ふれあいプラザ」の利点を最大限に活かし、各施設の垣根を越え、様々な団体や機関等がつながり、さらなる生涯学習の輪を広げることを目指します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市の生涯学習活動の拠点施設として、少年少女発明クラブ、大学や企業と連携したリカレント講座の開催など、学習機会を提供します。</li> <li>・老朽化した照明設備のLED化などにより施設の利便性向上を図ります。</li> <li>・児童センター及び男女共同参画センターとともに様々な団体や機関がつながり、ふれあいプラザ祭を開催し、少年少女発明クラブの作品展も同時に開催します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・少年少女発明クラブは、今年度より2クラスに分けて毎月活動しました。また、学習機会の提供として大学提携講座、公民館自主講座等を開催しました。</li> <li>・照明器具、誘導灯等の修繕により、施設の利便性の向上を図りました。</li> <li>・児童センター及び男女共同参画センターとともにふれあいプラザ祭を開催し、同時に少年少女発明クラブ作品展を開催しました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市の生涯学習活動の拠点施設として、少年少女発明クラブ、大学や企業と連携したリカレント講座の開催など、学習機会を提供します。</li> <li>・老朽化した自動ドアの修繕など、利用者のニーズに合った施設整備を行い、施設の利便性向上を図ります。</li> <li>・児童センター及び男女共同参画センターとともに様々な団体や機関がつながり、ふれあいプラザ祭を開催し、少年少女発明クラブの作品展も同時に開催します。</li> </ul>
		No20 歴史民俗博物館の有効活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・収集資料を活用した教育活動を推進するため、小・中学校などの教育施設と連携し、館内で実施する教室等のほか、館外での出前講座や資料の貸し出し等を行います。また、他の博物館等と連携し、収蔵資料の貸借、情報交換を密にして、より魅力的な事業を展開します。</li> <li>・展示解説等をデジタル化し、スマートフォン等で閲覧できる資料の拡充を図ります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校が必要とする出前講座を積極的に実施します。また、他の博物館等に定期的に連絡し、情報交換に努めます。</li> <li>・スマートフォンを使って閲覧できる常設展示解説の内容を一層充実させ、新たに収蔵した資料をデータベースへ定期的に登録することで、ホームページで閲覧できる資料を増やしていきます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・知多翔洋高等学校で出前講座を実施しました。また、立山博物館、東京ステーションギャラリーに所蔵資料を貸し出しました。</li> <li>・データベースへの登録を年度末に実施、19,866件の登録があり、19,193件のデータを閲覧することができます。</li> <li>・令和6年11月5日(火)～12月27日(金)は空調設備改修工事のため臨時休館しました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校が必要とする出前講座を積極的に実施します。また、他の博物館等に定期的に連絡し、情報交換に努めます。</li> <li>・スマートフォンを使って閲覧できる常設展示解説の内容を充実させ、新たに収蔵した資料をデータベースへ定期的に登録することで、ホームページで閲覧できる資料を増やし、様々な方に博物館の所蔵資料について知ってもらう機会を提供していきます。</li> </ul>
4 学 校 、 家 庭 、 地 域 、 行 政 の 連 携	(1) 地域で子どもを育てる環境づくり	No23 地域学校協働本部の設置及び地域学校協働活動推進員の配置	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域全体で子どもたちの学びや成長を支えるとともに、「学校を核とした地域づくり」を目指し、学校と地域が相互にパートナーとして連携・協働していきます。</li> <li>・地域住民等も教育の当事者になることで、責任感をもたせ、積極的に子どもの教育に携わり、学校運営や教育活動へ参画することで、生きがいにつながり、子どもたちの学びや体験の充実を図ります。</li> <li>・地域住民等と学校が「顔が見える」関係となり、地域住民等の理解と協力を得た学校運営を実現します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4月から運用を開始した旭南小学校区及び旭東小学校区地域学校協働本部では各小学校区地域学校協働活動推進員を中心に、地域と学校の連携事業の実施やボランティアの募集・活動などを実施します。また、旭南中学校区地域学校協働本部では地域からのボランティア要請に対して希望する生徒をボランティアとして派遣するための調整・管理を行います。</li> <li>・令和4年度から運用開始した南粕谷小学校区地域学校協働本部では、引き続き地域学校協働活動推進員を中心に、かすやっ子サポーターやかすやっ子ボランティアによる地域と学校の連携事業を実施します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4月から運用を開始した旭南小学校区及び旭東小学校区では生活科の授業や学校の環境整備を中心に地域へボランティアを募り、活動に繋がりました。また、同じく4月から運用を開始した旭南中学校区では地域からの要望により中学生をボランティアとして地域に派遣する調整、管理を行いました。</li> <li>・南粕谷小学校区では、前年度に引き続き地域の方のグロスターチャーターが活躍し、協働的な学びを支援しました。</li> <li>・旭南中学校地区の4校で毎月打合せを行い、各本部の進捗状況を共有するとともに、中学校区内の連携を図りました。また、統括コーディネーターが定期的に本部へ出向き、ちたっ子コーディネーターの支援を行いました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運用を開始した旭南中地区(南粕谷小、旭東小、旭南小、旭南中)の地域学校協働本部では、引き続き地域学校協働活動推進員を中心に、地域と学校の連携事業を実施するとともに、導入から3年が経過する南粕谷小学校においては教職員及び児童に再度地域学校協働活動の周知を行います。</li> <li>・令和9年度から運用開始予定の八幡中学校地区(八幡中、八幡小、つつじが丘小)及び中部中学校地区(中部中、新知小、佐布里小)における地域と学校の連携状況を把握するとともに、各地域の特色を活かした新制度の導入を検討します。</li> </ul>
	(2) 多様な機関との連携事業の実施	No28 少年少女発明クラブの発足と促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループでの工作や実験を通して、互いに高め合い、発想の引き出しを増やし、子どもたちの創造力を養います。</li> <li>・キャリアデザインとして「ものづくり」分野への志向を広げ、身近な生活の中にも「科学」を追求する人間形成を図ります。</li> <li>・大人になった会員がさらに下の世代へ科学技術や多角的なものの考え方を伝えていくサイクルをつくります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・少年少女発明クラブを基礎クラスと応用クラスの2クラスに分け、計画どおりに1年間ものづくりや実験ができるよう、活動を支援します。</li> <li>・発明協会が主催する発明くふう展に参加できるように作品製作コースにおける活動を支援します。</li> <li>・指導員との打合せ会を開催し、翌年度以降の活動計画を協議します。</li> <li>・2クラス体制及びくふう展作品の指導のため、指導員及びボランティアを広く募集します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4月21日に少年少女発明クラブの開講式を開催しました。6年度から基礎クラスと応用クラスに分かれて年間を通して、ものづくりや実験などができるよう、活動を支援しました。</li> <li>・指導員打合せ会及び企画運営委員会において6年度活動報告、決算、7年度活動計画、予算を協議しました。</li> <li>・7年度からクラブ員増員のため、指導員、ボランティアを、企業や学校などから募集しました。</li> <li>・7年度基礎クラスの発明クラブ員募集の配信ちらしを各小学校へ送信し、広く募集しました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・少年少女発明クラブを基礎クラス、応用クラス1、応用クラス2の3クラスに分け、計画どおりに1年間ものづくりや実験ができるよう、活動を支援します。</li> <li>・発明協会が主催する創意くふう展に出品するため、指導員とともに作品の制作活動を支援します。</li> <li>・指導員との打合せ会を開催し、翌年度以降の活動計画を協議します。</li> <li>・3クラス体制及びくふう展作品の指導のため、指導員及びボランティアを募集します。</li> </ul>

【生涯学習スポーツ課】知多市生涯学習まちづくり推進計画における令和6年度事業実績及び令和7年度事業計画について

基本施策	推進項目	取組項目	今後の方向性	令和6年度 事業内容	令和6年度 事業実績	令和7年度 事業内容
4 学校、家庭、企業、行政の連携	(2) 多様な機関との連携事業の実施	No.31 学校と地域におけるスポーツ活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どものときから運動に親しむ習慣を身に付け、体力を高められるよう学校や地域において子どもの体力の向上に取り組んでいきます。</li> <li>中学校での部活動指導員の導入や地域における指導者の人材確保など、学校と地域におけるスポーツ活動の充実を図ります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市内の10小学校において、子どもの体力向上実践事業を展開し、子どもの体力向上を促進します。</li> <li>身近な場所で子どもや大人がスポーツを楽しめる機会を提供するため、学校施設開放を継続して行います。</li> <li>中学校部活動の地域移行・地域連携において、知多市部活動地域移行・地域連携協議会を設置し、段階的な地域移行・地域連携に向けて検討を行っていきます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市内の10小学校教員を対象に子どもの体力向上実践事業を展開し、子どもの体力向上を促進しました。→8月 実技研修、11月12日 講演会</li> <li>学校施設開放を継続して行い、身近な場所で子どもや大人がスポーツを楽しめるよう機会を提供しました。</li> <li>知多市部活動地域移行・地域連携協議会を開催し、市の方針を決定しました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市内の10小学校の教員を対象に、子どもの体力向上実践事業を展開し、子どもの体力向上を促進します。</li> <li>身近な場所で子どもや大人がスポーツを楽しめる機会を提供するため、学校施設開放を継続して行います。</li> <li>令和7年9月より休日の中学校部活動廃止に伴い、地域のスポーツ団体の掘り起こしを行うなど、中学生のスポーツ活動に親しむ機会を確保します。</li> </ul>
5 学習成果を活かす機会の充実	(1) 学習を発表する機会の提供	No.32 まちかどギャラリー事業の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>作品の感想を展示者に伝えるような仕組みをつくることで、さらに展示者の創作意欲を高め、事業の活性化を図ります。また、オンライン動画配信やSNSなどを活用し、事業周知を行うとともに、新規展示会場の発掘・幅広い年齢層への働きかけを行うことで、多世代の市民交流の場とするともに、多様な文化芸術活動の支援を目指します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>追加展示の案内を半期毎に送付し周知させることで、各会場での展示回数を増やしていきます。</li> <li>各会場の魅力が伝わるよう、パンフレットの更新を行います。</li> <li>各会場で展示状況のヒアリングを行い、課題や問題点などを聞き取り、今後の在り方について検討します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>追加展示の案内を行いました。半年先の予定まで分かるようにレイアウトを変更し、周知しました。</li> <li>パンフレットの写真やレイアウトを変更し、更新しました。</li> <li>各展示場のヒアリングを実施したところ、営利又は宣伝を目的とする内容が含まれる展示があることが分かりました。そのため、まちかどギャラリー登録者に対し、事業目的に沿った展示をするよう周知を行いました。</li> <li>会場からの申し出により、令和5年度をもって1会場減り、令和6年度は11会場で展示を行いました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>最新の予定表案内を半期毎に送付することで周知を行い、各会場での展示回数を増やしていきます。</li> <li>各会場で展示状況のヒアリングを行い、課題や問題点などを聞き取り現状把握を行います。</li> <li>展示回数の少ない会場は集約するなど、今後の在り方について検討します。</li> </ul>
		No.33 市民大学ちた塾による地域還元事業の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民大学ちた塾の学びの輪をつなげることができるよう、多様な年代の人たちが交流できる場を地域の中につくり、市民大学ちた塾の講師や学生が、学習成果を発表、教え合うことのできる場とします。</li> <li>市民大学ちた塾が生涯学習を日常に取り入れる基盤とされるよう、まちの先生事業をモデルとし、知多半島内の学校とのつながりを持ちます。また、他市町の市民大学とも連携し、横のつながりによるまちづくりを進めていきます。</li> <li>学習成果を地域社会へ還元する取組を推進することで、地域活動への参加意識の高揚を促し、地域で活躍できる人材の育成をしていきます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民大学ちた塾の講師に対して、市内公共施設で開催される成果発表となるようなイベント等の情報を提供します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>講師や学生が交流できるイベントの場を支援予定です。また、まちかどギャラリーや美術展などによる成果発表ができる機会を提供しました。今年度はちた塾より美術展に出品する数が増えました。</li> <li>ちた塾における「教員学生活動支援費」を活用し、地域での活動を行いました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民大学ちた塾の会員が、学習成果発表の場としてまちかどギャラリーを活用してもらえよう、事業の提案を行い、学びの輪をつなげていきます。</li> <li>市民大学ちた塾の講師に対して、市内公共施設で開催される成果発表となるようなイベント等の情報を提供します。</li> </ul>
6 人材育成・活用	(1) 地域で活躍できる人材の発掘・育成	No.42 博物館中高生ボランティアの育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>中学生と高校生を対象としたボランティアを新たに募集し、養成講座や実習を通して郷土の歴史や文化を学ぶ機会を設けることで、若い世代の文化的活動を支援し、地域で活躍できる人材の育成に努めます。あわせて、博物館活動にも参加してもらい、博物館事業の充実を図っていきます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市内の中学校、高校に中高校生ボランティアのチラシの配信を依頼し、ボランティアを継続して募集します。郷土の歴史や文化についての講座や博物館事業の運営に接する機会を提供することで、将来、郷土の歴史や文化、博物館業務といった専門分野への道を志す若者を支援し、今後地域で活躍できる人材を育成します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市内の中学校、高校にチラシを配布し、12人が登録しています。養成講座を開催し、子ども向け講座の講師や産業まつりでの火おこし体験の補助、七曲古窯址の清掃などを行っていただきました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市内の中学校、高校に中高校生ボランティアのチラシの配信を依頼し、ボランティアを引き続き募集します。郷土の歴史や文化についての講座や博物館事業の運営に接する機会を提供することで、将来、郷土の歴史や文化、博物館業務といった専門分野への道を志す若者を支援し、今後地域で活躍できる人材の育成を図っていきます。</li> </ul>
		No.43 学校支援ボランティア等養成講座の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>活動の流れや子どもへの対応の仕方がわからないという方を減らし、未経験の活動にチャレンジする方を増やしていきます。</li> <li>これから学校で活動しようとするボランティアへ、活動中のボランティアからノウハウを伝える機会を増やすことで、ボランティア同士の連携を促進し、相乗効果により、さらに学校のため・地域のために充実した支援が行えるようになります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校から派遣要望の多い内容の養成講座を実施し、ボランティアの基礎的な知識を身に付けるとともに、学校の現状を知ってもらう機会を提供します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校から要望のあった子どもたちを事件や事故から守る学校安全ボランティアの養成講座を3月に開催しました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和7年4月よりちたっ子ボランティアハンドブックが更新されることに伴い、ちたっ子ボランティアについて説明する講座を実施し、地域で活躍できる人材の発掘を行います。</li> </ul>
	(2) 地域の人材を活用できる仕組みづくり	No.48 統括コーディネーター、地域コーディネーター、学校支援ボランティアの配置	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域住民、学生、保護者、NPO等、民間企業、団体・機関などの幅広い参画を得て、地域全体で継続した子どもたちの学びや成長を支えるとともに、「学校を核とした地域づくり」を目指して、学校と地域が相互にパートナーとして連携・協働していきます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校と地域の連携・協働体制の構築に対してさらなる支援をするため、専属の統括コーディネーターを配置します。</li> <li>令和6年度から運用を開始した旭南小学校区及び旭東小学校区地域学校協働本部において、地域住民からのボランティアを募集し、ちたっ子ボランティアを始めとするボランティア事業を積極的にPRするとともに、各種団体との連携体制を強化します。また、南粕谷小学校区地域学校協働本部でも引き続き同様な活動を行います。</li> <li>令和6年度から運用を開始した旭南中学校区地域学校協働本部においては希望する生徒を地域へボランティアとして派遣するための体制の構築を検討します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校と地域の連携・協働体制のさらなる構築に向けての支援をするため、専属の統括コーディネーターを配置しました。</li> <li>旭南中学校地区の4校で毎月打合せを行い、各本部の進捗状況を共有するとともに、中学校区内の連携を図りました。また、統括コーディネーターが定期的に本部へ出向き、ちたっ子コーディネーターの支援を行いました。</li> <li>旭南小学校区、旭東小学校区及び南粕谷小学校区では生活科・家庭科の授業や学校の環境整備を中心に地域へボランティアを募り、活動に繋げました。また、旭南中学校区では地域からの要望により中学生をボランティアとして地域に派遣しました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>専属の統括コーディネーターが学校と地域の連携・協働体制の構築においてさらなる支援を行います。</li> <li>地域学校協働本部を導入した3小学校区では引き続き地域住民へボランティアを募集していきます。旭南中学校区ではボランティア活動への参加を希望する生徒を地域からのボランティア要請とマッチングを行います。</li> <li>導入から4年目を迎える南粕谷小学校区では学校と地域だけでなく保護者や民間企業など、多方面からの参画を目指して連携・協働を支援していきます。</li> </ul>